令和６年度

事　業　報　告　書

公益財団法人　交通遺児等育成基金

令和年６度 事業報告

Ⅰ　事　業　運　営

１．交通遺児育成基金事業

（１）加入等の状況

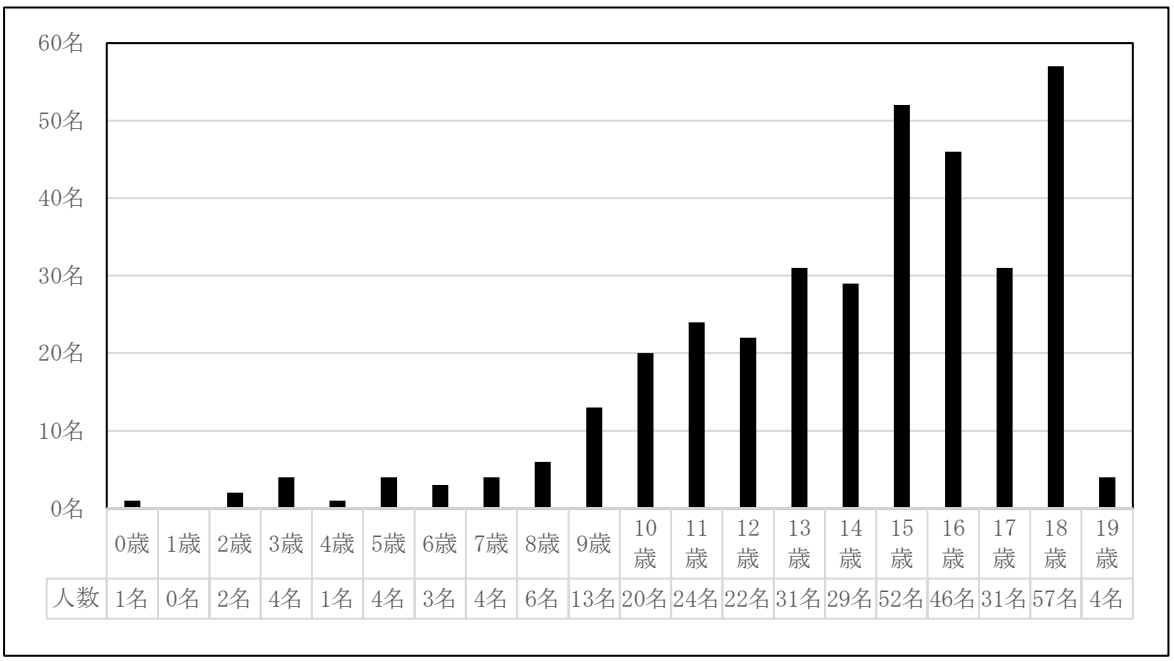
令和６年度の交通遺児育成基金事業への新規加入者は２６名であった。

また、給付完了者は３８名で、脱退・死亡者はなく、この結果、令和７年３月末現在の加入遺児数は３５４名となった。

【 最近の加入状況等 】　（単位：名）

区　　分	新規加入数	脱退・死亡数	給付完了数	年度末の加入遺児数
令和４年度	２０	０	５４	３９６
令和５年度	３５	０	６５	３６６
令和６年度	２６	０	３８	３５４
昭和５５年度からの累計	４，０００	１５４	３，４９２	―

【基金加入者年齢分布】（３５４名、令和７年３月末現在）



（２）加入促進のための広報

ア　広報誌スマイルズの配付

関係機関・法人、寄付者に対して、季刊広報誌「スマイルズ＊基金だより（以下「「スマイルズ」」という。)」を年４回発行し送付した。

イ　業務概要の広報

関係団体や企業のホームページ、社内広報、広報誌などに当基金の業務概要等を掲載していただいた。

ウ　リーフレットの配付

警察庁のご協力のもと、全国の警察署に交通事故相談等の対応に活用していただくため、リーフレットを常備していただいた。その他、全国の各教育委員会、損保会社各社へも同様の目的でリーフレットを送付した。

一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会の総会において、出席事業者に当基金のリーフレットを配付していただき、業務概要の周知を図った。

エ　基金の広報

雑誌（地方自治体発行のものなど)、新聞（業界紙）へ当基金の活動内容等について、周知を図るため広報活動を行った。

また、壁掛けカレンダーを継続して作成し、独立行政法人 自動車事故対策機構（以下「ナスバ」という。）の協力も得ながら広く配付し、広報に努めた。

オ　新規加入者アンケート

新規加入時の加入者に対しては、基金制度の情報の「入手方法」、加入に際しての「不安」などに対するアンケートを実施している。

新規加入１９家庭を対象に実施したところ、回答のあった１８家庭の具体的な内容は、以下のとおりである。

【令和６年度 アンケートの回答結果】

〇基金制度の情報の「入手方法」

［質 問］育成基金制度をどこで知りましたか（複数回答あり）。

・基金のホームページ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５件
・基金発行の広報資料（パンフ・リーフレット）・・・・・・ ３件
・警察（交通安全協会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６件
・自治体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １件
・ナスバ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １件
・身近な知人 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １件
・その他（小学校、育英会の集いの会、東海交通遺児を励ます会、
鹿児島県交通事故被災者たすけあい会）・・・・ ４件

〇加入に際しての「不安」

［質 問］基金への加入にあたって、拠出金の振込に不安を感じませんでしたか。何が決め手になりましたか。（複数回答あり）

・当初は不安があったが、基金に問合せして、理解でき安心した。
・国から補助金が出ているので心配がなかった。
・信頼性、安全性を確認するため、市役所など自治体、内閣府、国交省へ問合せを行なった。
・警察、自治体、学校又はナスバから貰った支援のためのリーフレットなどに載っていたので不安が解消された。

引き続き、警察及び自治体並びにナスバなど公的機関に、情報提供のご協力をいただくことが重要との認識を持ったところである。

（３）育成給付金の支給状況

令和６年度の育成給付金の合計支給額は、２億５，４０１万円で、前年度より７０１万円減少した。

一方、１名１回当たりの支給額は、１７８，９２５円で、前年度より２，７９３円増加した。

最近の推移は、次表のとおりである。

年度別	総支給額（千円）	１名１回当たりの支給額［３ヶ月分］（円）
令和４年度	２９１，３７７	１７７，３４４
令和５年度	２６１，０２７	１７６，１３２
令和６年度	２５４，０１４	１７８，９２５

２．交通遺児等に対する支援給付事業等

（１）生計困窮家庭に対する支援給付事業

交通遺児家庭または交通重度後遺障害者の家庭（以下「自動車事故被害者家庭」という。）のうち、生計困窮家庭に対する支援事業として、越年資金、入学支度金、進学等支援金等を支給している。

令和６年度は、引き続き、ナスバ本部並びに各支所の協力を得て、これら支援給付事業の重度後遺障害者家庭への重点的な案内を実施した。

ア　越年資金の支給

自動車事故被害者家庭のうち、生計困窮家庭に対して、越年資金として、１２月にお子様１名当たり、３万円を支給している。

令和６年度の給付総額は１，３７４万円となっており、その内訳は３１３世帯４５８名で、そのうち重度後遺障害者家庭のお子様は２２０名であった。

【参　考】

令和４年度　５０１名（うち重度後遺障害者家庭のお子様２５６名）
令和５年度　４７５名（うち重度後遺障害者家庭のお子様２２０名）
令和６年度　４５８名（うち重度後遺障害者家庭のお子様２２０名）

イ　入学支度金の支給

自動車事故被害者家庭のうち、生計困窮家庭のお子様が小学校又は中学校に入学する際に、入学支度金として１人当たり６万円を支給している。

令和６年度の給付総額は２５８万円となっており、その内訳は３９世帯４３名で、そのうち重度後遺障害者家庭のお子様は３１名であった。

【参　考】

令和４年度　４２名（うち重度後遺障害者家庭のお子様２９名）
令和５年度　６０名（うち重度後遺障害者家庭のお子様３７名）
令和６年度　４３名（うち重度後遺障害者家庭のお子様３１名）

ウ　進学等支援金の支給

自動車事故被害者家庭のうち、生計困窮家庭のお子様が義務教育を終了して上級学校に進学又は就職する場合に、進学等支援金として１名当たり６万円を支給している。

令和６年度の給付総額は２７０万円となっており、その内訳は４３世帯４５名で、そのうち重度後遺障害者家庭のお子様は２８名であった。

【参　考】

令和４年度　４１名（うち重度後遺障害者家庭のお子様２４名）
令和５年度　４４名（うち重度後遺障害者家庭のお子様１９名）
令和６年度　４５名（うち重度後遺障害者家庭のお子様２８名）

エ　緊急時見舞金の支給

自動車事故被害者家庭のうち、生計困窮家庭のお子様若しくはその扶養者等が死亡若しくは重度の後遺障害を負った場合、又は災害により家屋等に甚大な被害を受けた場合に、緊急時見舞金として１世帯当たり１０万円又は５万円を支給している。

令和６年度においては、令和６年能登半島地震の発生に伴い、家屋が半壊の被害に遭われた１家庭に対し、１０万円を支給した。

オ　図書カードの贈呈

入学支度金、進学等支援金を支給する際に、今後の勉学に資する図書の購入に役立てていただけるよう、図書カード５千円分を贈った。

（２）育成基金加入遺児に対する給付事業

ア　橋本給付金及び完了給付金の支給

令和６年度は、橋本給付金を７８名に対して総額４６８万円、完了給付金を３８名に対して総額１１４万円支給した。

※ 橋本給付金：小学校･中学校･高校入学時に１名当たり６万円を支給
※ 完了給付金：育成給付金の支給完了時に１名当たり３万円を支給

なお、育成基金加入遺児に対しては、橋本給付金と同じ目的で支給している入学支度金及び進学等支援金は、支給していない。

【参　考】

令和４年度　橋本給付金　６０名、完了給付金　５４名
令和５年度　橋本給付金　７４名、完了給付金　６５名
令和６年度　橋本給付金　７８名、完了給付金　３８名

イ　図書カードの贈呈

育成基金事業への加入時、橋本給付金及び完了給付金の給付時に、今後の勉学に資する図書の購入に役立てていただけるよう、図書カード５千円分を贈った。

（３）ＳＤＤ基金事業

令和６年度のＳＤＤ音楽奨学生は、高校生１名、大学生２名である。

３名に対し、総額３００万円の奨学金を支給した。

また、給付開始の平成２９年度以降、ＳＤＤ奨学生としての修了者は、累計で８名となっている。

【参　考】

ＳＤＤ（Stop Drunk Driving）とは、飲酒運転の撲滅を目指して、ＦＭ大阪が主唱し、多くの企業・団体の協力の下に、平成１９年から始まったキャンペーン・プロジェクトである。

平成２０年以降、毎年、飲酒運転の撲滅を呼び掛ける様々な行事の集大成として「LIVE　SDD」を大阪城ホールにおいて開催し（令和２年度は無観客ライブ配信。令和６年度は１８回目の開催。）、その際の募金（入場料相当）等を当法人に寄付していただいている。

この寄付金は、交通遺児の「音楽の夢」を支援するためにＳＤＤ基金として積み立て、平成２９年度より奨学金等の給付を開始した。

また、その寄付金のうちの一部は当基金の交通遺児等支援給付事業に活用させていただいている。

また、令和６年度には、この活動に賛同した栃木県那須町が、町制施行７０周年を契機として、当町で「LIVE SDD NASU 2024」を開催し、その際の募金を当法人に寄付していただいた。

３．交通遺児等に対する精神的支援事業

（１）交通遺児等の激励及び援助活動

ア　広報誌の発行

育成基金事業加入遺児及びそのご家族が当基金の活動や他のご家族の経験を共有等するため、「スマイルズ」を４回、各ご家庭に配付した。

また、「スマイルズ」は、加入遺児及びそのご家族以外にも、交通遺児たちの状況や当法人業務や活動への理解を深めるため、関係機関・法人などに対して広く配付した。

新年号（１月）、春号（４月）、夏号（７月）、秋号（１０月）

イ　卓上カレンダー等の配付

育成基金加入遺児に、学習素材を兼ねたオリジナル卓上カレンダーを配付するとともに、希望者に対して夏休みと春休みに基金加入者全員と保護者に映画鑑賞券を贈った。

また、基金加入者以外の支援給付対象者の中の希望者に対しては、夏休みに１世帯当たり２枚（交通遺児等及び保護者のペア）の映画鑑賞券を贈った。

（２）自動車事故被害者援護活動に対する協力事業

ナスバが実施している交通遺児たちやその家族の交流の場である「交通遺児友の会」の集い、「交通遺児友の会」を対象とした「絵画コンテスト」などの実施に必要な経費の一部として１３，９１５千円を支援した。

【参　考】

①　「交通遺児友の会の集い」の開催

全国の支所において、「友の会の集い」を開催し、子供たちやその家族の交流を図るとともに、楽しい思い出作りができるようなレクリエーション活動を行っている。

令和６年度は、参加世帯数延べ１６３世帯、参加人数は延べ４４７名であった。

②　「友の会交流会」の開催

全国の支所において、友の会交流会を開催し、友の会会員相互の親睦を深める目的で情報交換やコミュニケーションの場を提供している。

令和６年度は、参加世帯数延べ２７６世帯、参加人数は延べ７５７名であった。

③　「交通遺児友の会コンテスト」の開催

交通遺児たちの作品の創作を通して、お子様たちの感性や想像力を養う機会として、絵画・書道・写真などのコンテストを毎年行っており、最優秀作品には国土交通大臣賞を授与されるほか、当基金からも優秀作品のうち一点に交通遺児等育成基金会長賞を授与している。

令和６年度は「絵画コンテスト」を実施した。その結果、４歳から高校生及び家族による６部門への応募があり、応募総数２１４作品の中から最優秀賞（国土交通大臣賞）１作品、優秀賞（※）４作品、金・銀・銅、ファミリーの各賞を併せて８５名が入賞した。

※（優秀賞）（独）　自動車事故対策機構理事長賞
（公財）交通遺児等育成基金会長賞
（公財）交通遺児育英会会長賞
全国トラック交通共済協同組合連合会会長賞

Ⅱ　財　務

１．賛助会費

賛助会員制の下で、当法人の目的に賛同された多くの団体・企業及び個人から財政的なご支援を戴き、事業運営の安定化が図られている。

令和６年度は、団体・企業４８社及び個人２１名、から合計１，０６３万円（前年度９２８万円）の賛助会費をいただいた。（賛助会員のご芳名は別表１のとおり。）

なお、賛助会員各位には「スマイルズ」を送付した。

２．寄付金

令和６年度は、団体・企業３３７社及び個人１５２名から、合計２億２３７万円（前年度１億４，４５１万円）の寄付金をいただいた。（寄付者のご芳名は、別表２のとおり。）

なお、寄付者各位には、賛助会員同様、「スマイルズ」を送付した。

主に継続寄付者に対しては、「スマイルズ」の送付のほか、寄付者訪問、感謝状贈呈、活動状況の報告などの活動を行った。

３．育成基金事業に係る原資の受け入れ状況

令和６年度の新規加入に伴う交通遺児家庭からの拠出金並びに政府補助金及び民間団体援助金の決定額は、次表のとおりである。

（単位：千円）

区　分	令和６年度受入額	負担割合
新規加入遺児家庭からの拠出金【２６名分】	１２１，５００	－
政　府　補　助　金	２１，３７８	補助対象経費の１／２
（一社）日本損害保険協会	１４，２５２	政府補助金額の２／３
（一社）日本自動車工業会	４，２７６	〃　１／５
全国共済農業協同組合連合会	２，１３８	〃　１／10

（備考）上記の他、政府補助金額の 1/30 の 713 千円は当法人の負担。

４．正味財産の増減、資産の状況

一般正味財産の評価損益等調整前当期経常増減額は△１１０千円（前年度△８３千円）であった。

令和７年３月末の資産の状態は以下のとおりである。

（１） 給付責任準備資産

期末現在の加入者３５４名が満１９歳になるまで育成給付金を支給するために必要な額として、９億７，７４７万１千円を給付責任準備資産として積み立てている。

給付責任準備資産の資産構成　（単位：千円。下段は、構成比％）

預　金	日本国債	政府関係機関債	社　債	円建外債	合　計
185,898 (19.0)	103,585 (10.6)	401,602 (41.1)	188,656 (19.3)	97,730 (10.0)	977,471 (100)

（２） 法人全体の財務状況

ア 資産及び負債の状況

令和７年３月末における資産及び負債の状況は、次のとおりである。

資産合計　３８億３，８２１万２千円（３８億９，４７１万８千円）

負債合計　１２億５，６１５万７千円（１３億６，０２０万７千円）

正味財産　２５億８，２０５万５千円（２５億３，４５１万１千円）

※（　）内は、令和６年３月末の値。

イ 資産構成

令和７年３月末現在の法人全体の資産の構成は、次表のとおりである。

基本財産及び特定資産の資産構成　（単位：千円。下段は、構成比％）

預　金	日本国債	地方債	政府関係機関債	社　債	円建外債	ＥＴＦ	合　計
740,539 (20.8)	111,607 (3.1)	102,140 (2.9)	776,661 (21.8)	1,482,280 (41.6)	289,051 (8.1)	61,396 (1.7)	3,563,677 (100)

（注）預金には金銭信託 100,000 千円を含む。

（参考）令和６年度事業計画「事業運営の方針」

次の諸課題に重点的に取組み、事業運営の充実を目指す。

１．基金事業への加入促進のための取組み

２．生計困窮家庭への支援給付事業の周知及び案内

３．賛助会員及び寄付金募集の推進並びに安全・確実な資産運用を通じた財務基盤の安定・強化

４．独立行政法人自動車事故対策機構などの関係機関と連携・協力

Ⅲ　会　議（評議員会及び理事会並びにその他の会議）

１．評議員会

（１）第４２回 定時評議員会　令和６年６月２４日

①　令和５年度事業報告

②　令和５年度決算

③　令和５年度資産運用結果（報告）

④　理事、評議員の選任

⑤　その他（業務執行状況報告）

（２）第４３回 評議員会　令和６年９月６日（書面決議）

評議員及び理事の選任

（３）第４４回 評議員会　令和６年１０月７日（書面決議）

理事の選任

（４）第４５回 評議員会　令和７年３月５日

①　橋本給付金等支給規程の改正（報告）

②　令和７年度事業計画及び予算（案）

③　令和６年度資産運用状況（報告）

④　令和７年度資産運用計画案

⑤　その他（業務執行状況報告）

２．理事会

（１）第５８回 通常理事会　令和６年６月６日

①　令和５年度事業報告及び決算

②　令和５年度資産運用結果（報告）

③　定時評議員会（第４２回）の招集

④　その他（業務執行状況報告）

（２）第５９回 理事会　令和６年７月１０日（書面決議）

会長（代表理事）及び専務理事の選定

（３）第６０回 理事会　令和６年８月１５日（書面決議）

①　評議員会（第４３回）の招集

②　役員選考委員会へ常勤理事候補を推薦

（４）第６１回 理事会　令和６年９月３０日（書面決議）

①　副会長（代表理事）の選定

②　評議員会（第４４回）の招集

（５）第６２回 理事会　令和６年１１月１日（書面決議）

常務理事の選定

（６）第６３回 理事会　令和７年１月２２日（書面決議）

評議員会（第４５回）の招集

（７）第６４回 通常理事会　令和７年３月５日

①　橋本給付金等支給規程の改正（案）

②　令和７年度事業計画及び予算（案）

③　令和７年度資産運用状況（報告）

④　令和７年度資産運用計画案

⑤　その他（業務執行状況報告）

３．その他の会議

（１）資産運用検討委員会

①　第２９回 資産運用検討委員会　令和６年５月１７日

ア）令和５年度　資産運用報告

イ）令和５年度　資産運用結果に対する評価

②　第３０回 資産運用検討委員会　令和７年１月２４日

ア）令和６年度　資産運用状況（報告）

イ）令和７年度　資産運用計画策定案（諮問）

（２）役員選考委員会

第８回 役員選考委員会　令和６年９月１１日

常勤役員候補者の面接、評価について

Ⅳ　参　考（組織）

組織（令和７年３月３１日現在）

１．評 議 員（敬称略）

青　山　佳　世	フリーアナウンサー
伊豆原　　孝	（一社）日本損害保険協会 常務理事
江　坂　行　弘	（一社）日本自動車工業会 常務理事
神　谷　俊　広	（一社）全国ハイヤー・タクシー連合会 理事長
川　嶋　智　尚	（一財）東京都営交通協力会 専務理事
小　瀬　達　之	（一財）関東陸運振興センター 理事長
小　糸　正　樹	（一社）日本自動車販売協会連合会 副会長
島　　雅　之	（一社）日本自動車整備振興会連合会 専務理事
野　津　真　生	（一社）日本自動車連盟 専務理事
津　川　哲　郎	弁護士、津川哲郎法律事務所 所長
中　西　和　博	損害保険料率算出機構 常務理事
廻　　洋　子	敬愛大学国際学部 特任教授
吉　橋　宏　之	（公社）全国通運連盟 専務理事

以上１３名

２．役　　員（敬称略）

会　　長 （代表理事）	小　幡　政　人	(公財)日本海事センター 顧問
副 会 長 （代表理事）	和　佐　健　介	(独)自動車事故対策機構 理事
専務理事 （業務執行理事）	菅　野　孝　一	常勤
常務理事 （業務執行理事）	寺　内　博　昭	常勤
理　　事	入　谷　　誠	（一財）全日本交通安全協会 専務理事
理　　事	植　竹　　徹	全国市長会 経済部長
理　　事	澤　端　義　之	全国町村会事務局 総務部長
理　　事	小　林　　覚	（公財）日弁連交通事故相談センター 評議員
理　　事	稲　田　浩　二	(公社)日本バス協会 常務理事
理　　事	早　川　眞一郎	（公財）交通事故紛争処理センター 理事長
理　　事	山　崎　　薫	（公社）全日本トラック協会 専務理事
監　　事	岡　安　雅　幸	(一社)全国自動車標板協議会 専務理事
監　　事	堤　谷　清　隆	全国共済農業協同組合連合会 農業・地域活動支援部長

以上１３名

（備考）常勤理事を除き、役員・評議員は非常勤・無報酬。

３．事務局

常勤職員３名（事務局長は常務理事が兼務）

［ 所在地 ］東京都千代田区麹町４－５　海事センタービル７階

別表１

令和６年度賛助会費（１０，６３０千円）

（敬称略・五十音順）

特別賛助会員	計　３法人
遠州トラック（株）　（代表取締役社長　澤田 邦彦） （株）オートバックスセブン　（代表取締役社長　堀井 勇吾） （株）プロックス　（代表取締役　伊藤 剛）	

一般賛助会員	計　４５法人・団体
（株）朝日ネットワーク （代表取締役社長　小野 康夫） （一社）エコバッテリー推進協会 （理事長　梅沢 利雄） エネクスフリート（株） （代表取締役　増田 俊二） （株）Ｆ．クリエイト （取締役社長　古宮 昇） 九州商運（株） （代表取締役社長　中川 寛茂） ｷｭｰｿｰ流通ｼｽﾃﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ社会貢献ｸﾗﾌﾞ （代表者　富田 仁一） 共栄システム（株） （代表取締役　前田 繁孝） 国美コマース（株） （代表取締役　廣橋 州三） コウショウ物流（株） （代表取締役　朝倉 大希） （一社）交通事故医療情報協会 （代表理事　吉田 崇） 静岡県トラック運送事業経営者連盟 （会長　佐野 寛） （一財）自動車検査登録情報協会 （理事長　加藤 和夫） 島田（株） （代表取締役　島田 博史） ジャバ（株） （代表取締役　柴田 雅之） （一社）全国軽自動車協会連合会 （会長　赤間 俊一） （一社）全国自動車標板協議会 （会長　安原 敬裕）	全国トラック交通共済協同組合連合会 （会長　千原 武美） （一社）全国霊柩自動車協会 （会長　岡 伸二郎） （公社）全日本トラック協会 （会長　坂本 克己） 大有建設（株） （代表取締役　川中 喜雄） 大有建設協力会 （会長　加藤 正） （株）タニタ （代表取締役社長　谷田 千里） 中央自動車工業（株） （代表取締役社長　坂田 信一郎） （一社）東京バス協会 （会長　南 正人） （株）東横イン （代表執行役社長　黒田 麻衣子） （株）トップライン （代表取締役　齋藤 哲） （株）ナカネ （代表取締役　中根 茂樹） （公社）長野県トラック協会 （会長　小池 長） （公社）新潟県トラック協会 （会長　小林 和男） 日本自動車輸入組合 （理事長　上野 金太郎） （一社）日本自動車連盟 （会長　坂口 正芳） （一社）日本トラックリファインパーツ協会 （代表理事　新井 栄）

（公社）日本バス協会 （会長　清水 一郎） にわ法律事務所 （弁護士　丹羽 洋典） （株）パワーグループ （代表取締役　嶋香 愛子） （株）物流ニッポン新聞社 （代表取締役社長　山田 晋） 北港運輸（株）創業100周年記念企画実行委員 （代表取締役　古谷 裕子） 松峰工業（株） （代表取締役　長谷川 秀雄） マルエイトランスポート（株） （代表取締役　澤田 正二）	三重県交通共済協同組合 （理事長　小谷 まゆみ） 三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券（株） （取締役社長　小林 真） （株）山三 （代表取締役　山崎 誠之） （株）やまのふもと （代表取締役　中村 哲也） ユナイト（株） （代表取締役　倉田 明彦） ロジクエスト（株） （代表取締役　清水 一成）

一般賛助会員　　個人　　計　　２１名

上田　豊	高橋　柳太郎	宮本　佳奈
岡崎屋　惣次郎	丹澤　恵子	宮本　宗典
小川　政希	中村　和浩	横川　博一
栗森　健二	西山　勝	
小林　哲之	丹羽　洋典	
髙橋　聡	真花　宏行	匿名希望　６名

特別賛助会員　　１００万円以上
一般賛助会員　　法人：一口　１０万円
　　個人：一口　　１万円

別表２

令和６年度寄付金（２０２，３７０千円）

（敬称略・五十音順）

寄付金	法人、団体等	計	３３７件

あいおいﾆｯｾｲ同和損害保険（株）　ＭＳ＆ＡＤゆにぞんｽﾏｲﾙｸﾗﾌﾞ
あいおいﾆｯｾｲ同和損害保険（株）　東京南支店 自動車営業課
（一社）愛知県自動車会議所
愛知県中古自動車販売商工組合
（一社）青森県自動車整備振興会
青森県自動車整備青森協議会
（公社）青森県バス協会
青森スバル自動車（株）
アキタ（株）
秋田スバル自動車（株）
アクサセイメイホケン（カ）ケイリ
（株）アップガレージ
アトミクス（株）
（株）アプラス カード事業第一部
ｲｹﾀﾞｶﾝｼﾞﾁｮｳｼｭｻｲ ﾖﾛｲｽﾞｶﾗﾌﾞﾗﾌﾞﾂｰﾘﾝｸﾞ一同
（株）石橋
（株）石原運輸
（株）伊勢新聞社
板橋個人タクシー協同組合
一畑バス（株）・松江市交通局
（一社）茨城県トラック協会
（一社）茨城県ﾄﾗｯｸ協会 県北支部 青年部会
（一社）茨城県トラック協会 青年部会
（一社）茨城県トラック協会 常陸那珂支部
（公社）岩手県バス協会
岩沼市交通安全母の会
ヴェテランカークラブ東京
宇都宮南交通安全協会
ＮＯＫ損保サービス
エネクスフリート（株）
（株）エフエム大阪
ＦＶジャパン（株）
ＭＳ＆ＡＤシステムズ（株）
（株）オアシスパーク
大分県軽自動車協会
（一社）大分県自動車整備振興会
（一社）大分県タクシー協会
（一財）大阪府交通安全協会 交親会
（一社）大阪府トラック協会 泉州支部
（一社）大阪府トラック協会 青年部会
（有）大野ヶ原物流 有志一同
大野組
沖縄県軽自動車協会
（一財）沖縄県自動車標板協会
沖縄県中古自動車販売協会
沖縄バス（株）
沖縄ふそう自動車（株）
小幡青年政経塾
小山地区安全運転管理者協議会
（一社）香川県自動車会議所
香川県自動車車体整備協同組合
（一社）鹿児島県タクシー協会
（一社）神奈川県自動車会議所
（一社）神奈川県自動車会議所 神奈川事業所
（一社）神奈川県自動車会議所 川崎事業所
（一社）神奈川県自動車会議所 軽相模事業所
（一社）神奈川県自動車会議所 相模事業所
（一社）神奈川県自動車会議所 湘南事業所
（一社）神奈川県自動車会議所 横浜事業所
（一社）神奈川県自動車販売店協会
（一社）神奈川県トラック協会 青年部会
加南トラック事業協同組合
関東自動車標板協議会
関東トラック協会青年部会
（一財）関東陸運振興センター
（一財）関東陸運振興センター 足立支部
（一財）関東陸運振興センター 春日部支部
（一財）関東陸運振興センター 熊谷支部
（一財）関東陸運振興センター 群馬支部
（一財）関東陸運振興センター 埼玉支部
（一財）関東陸運振興センター 品川支部
（一財）関東陸運振興センター 袖ヶ浦支部
（一財）関東陸運振興センター 多摩支部
（一財）関東陸運振興センター 千葉支部

（一財）関東陸運振興センター 所沢支部
（一財）関東陸運振興センター 習志野支部
（一財）関東陸運振興センター 野田支部
（一財）関東陸運振興センター 八王子支部
（一財）関東陸運振興センター 山梨支部
北九州自動車検査登録事務所
（一社）岐阜県自動車会議所
九州運輸局 大分運輸支局
九州運輸局 長崎運輸支局佐世保自動車検査登録事務所
九州運輸局 福岡運輸支局
九州運輸局 福岡運輸支局久留米自動車検査登録事務所
九州運輸局 福岡運輸支局筑豊自動車登録事務所
九州キリンビバレッジサービス（株）
九州自動車標板協議会
九州三菱自動車販売（株） 佐賀支店
（一財）九州陸運協会
（一財）九州陸運協会 大分支部
（一財）九州陸運協会 北九州支部
（一財）九州陸運協会 久留米支部
（一財）九州陸運協会 筑豊事務所
（一財）九州陸運協会 長崎支部
（一財）九州陸運協会 福岡支部
（一社）京都府トラック協会 南支部
桐生工業（株）
キリンホールディングス（株）
（一財）近畿陸運協会
（一財）近畿陸運協会 なにわ支部
（一財）近畿陸運協会 奈良支部
（一社）熊本県タクシー協会
熊本県タクシー交通共済協同組合
（株）京急保険サービス
軽自動車検査協会
軽自動車検査協会 大分事務所
軽自動車検査協会 北九州支所
軽自動車検査協会 久留米支所
軽自動車検査協会 高知事務所
軽自動車検査協会 筑豊支所
軽自動車検査協会 長崎事務所
軽自動車検査協会 福岡主管事務所
（株）ケシオン
高知通運（株）
（株）神戸製鋼所 大安製造所
コカ・コーラ ボトラーズジャパン（株）
国土交通省 東北運輸局秋田運輸支局
鴻池運輸（株）
今野不動産
サイードウ トレーディング サイードウアルシヤツド
（株）サガテレビ
さくらモーニングクルーズ
（一社）佐世保自動車協会
サッポログループ物流（株）首都圏支社
シークレットベースレーシング
（株）ＣＧＳ
ＪＡいわてグループ
ＪＡ共済連青森・ＪＡグループ青森
ＪＡグループ三重 職員一同
ＪＡ兵庫南 荒川支店
ＪＳＡ中核会大阪北支部
（一社）事故車損害調査協会
静岡県貨物運送協同組合 青年部
静岡県警察カレンダー製作委員会
（一社）静岡県自動車会議所
（一社）静岡県自動車会議所 浜松事務所 来客者有志一同
（一社）静岡県自動車整備振興会
（一社）静岡県トラック協会
七十七「小さな親切」の会
（独）自動車技術総合機構 九州検査部
（一財）自動車検査登録情報協会
（独）自動車事故対策機構 大分支所
（独）自動車事故対策機構 釧路支所
（独）自動車事故対策機構 福岡主管支所
（独）自動車事故対策機構 福島支所
（独）自動車事故対策機構 宮崎支所
紫峰会
島田（株）
島根県警察本部交通部会
認定ＮＰＯ法人ジャパン・カインドネス協会
ジャパン福岡・ペプシコーラ販売（株）
（一財）首都高速道路技術センター
湘南サンタツーリング
城北個人タクシー協同組合
城北野球連盟
（株）心美
（株）ＳＵＢＡＲＵ

スバル用品（株）
（株）スマイルカンパニー
住友ゴムＣＳＲ基金
ゼネラルセキュリティサービス（株）
センコーグループ労働組合連合会
全国共済農業協同組合連合会 神奈川県本部
全国共済農業協同組合連合会 滋賀県本部
全国共済農業協同組合連合会 福岡県本部
全国共済農業協同組合連合会 三重県本部
（一社）全国軽自動車協会連合会 高知事務所
（一社）全国軽自動車協会連合会 長崎事務所
全国トラック交通共済協同組合連合会
（一社）全国ハイヤー・タクシー連合会
全トヨタ労働組合連合会
（公社）全日本トラック協会
（株）ソフト９９コーポレーション
損害保険ジャパン（株）
ダイハツ生活協同組合
（株）高岡市衛生公社
辰野交通安全協会
蓼科山聖光寺
（一財）多山報恩会
チェッカー青年部会
（一社）千葉県トラック協会 柏支部
（一社）千葉県トラック協会 青年部会
（一社）千葉県トラック協会 野田支部
（一社）千葉県トラック協会 松戸支部
中央自動車工業（株）
中部運輸局 愛知運輸支局
中部交通共済協同組合
ＴＡＩＬＧＡＴＥ合同会社
てらだ鍼灸整骨院
東京海上日動火災保険（株）
東京七福グループ （株）ビヨンドエー
（公財）東京タクシーセンター
（一財）東京都営交通協力会
東京都軽自動車協会
（一社） 東京都個人タクシー協会
東京都個人タクシー協同組合 足立第一支部
東京都個人タクシー協同組合 荒川支部
東京都個人タクシー協同組合 江戸川第一支部
東京都個人タクシー協同組合 北第二支部
東京都個人タクシー協同組合 世田谷第一支部
東京都個人タクシー協同組合 練馬支部
東京ハイタク協議会
（一社）東京ハイヤー・タクシー協会
陶都信用農業協同組合
東友個人タクシー協同組合
東洋カーマックス（株）
徳島県軽自動車協会
（一社）栃木県自動車整備振興会
栃木県那須町
（一社）鳥取県トラック協会
（株）トップライン
（一社）富山県自動車会議所
富山県中古自動車販売協会
（一社）富山県トラック協会
（一社）富山県トラック協会 青年部会
（学）トヨタ東京整備学園
トヨタメトロジック（株）
トヨタモビリティ東京（株）
（株）トラストガレージ
長崎県警察 佐世保警察署
長崎県軽自動車協会 佐世保支所
（一社）長崎県自動車協会
（一社）長崎県自動車整備振興会
（一社）長崎県自動車整備振興会 県北支所
長崎県自動車販売店協会
中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京（株）
（株）ナカネ
（一財）長野県自動車標板協会
那須塩原警愛会
奈良県自動車販売店協会
奈良中央運輸事業協同組合
（一財）新潟県自動車標板協会
（株） 新潟標板製作所
西日本個人タクシー協同組合
ニチレイマグネット（株）
（株）日刊自動車新聞社関東支社
日個連東京都営業協同組合 城北支部
日産物流（株）
日本交通（株） ＥＤＳ事業部
（一社）日本自動車運行管理協会
（一社）日本自動車販売協会連合会 岐阜県支部

（一社）日本自動車販売協会連合会 宮崎県支部
（一社）日本中古自動車販売協会連合会
（公社）日本バス協会
（一財）日本品質保証機構
（一社）日本陸送協会 九州支部
（一社）日本陸送協会 近畿支部
（一社）ＮＥＸＣＯ中日本基金
ノースブックセンター
パーク２４（株）
Ｈａｒｌｅｙ－Ｄａｖｉｄｓｏｎ　Ｌｅｏ
ハイデンベルク シントウメイトンネルツーリング参加者一同
ハイデンベルクモアーズシテイーツーリング一同
博多個人タクシー協同組合
ハッピーボンボンプラネット
ハト個人タクシー協同組合
ハト個人タクシー協同組合 無線配線室小嶺無線部
ハルデンツーリング コサンカンジ スギモト
ハルデンベルクラビスタカンノンザキツーリング参加者一同
阪急バス（株）
阪急阪神ホールディングス（株）
（株）光コーポレーション
（株）ピューマ
兵庫県警察本部 交通企画課
（一社）兵庫県トラック協会
ヒロシマデンテツ(株)
福岡県軽自動車協会
（一社）福岡県自家用自動車協会
（一社）福岡県自動車整備振興会 北九州事務所
（一社）福岡県自動車整備振興会 久留米事務所
（一社）福岡県自動車整備振興会 筑豊事務所
福岡県自動車販売店協会
（一財）福岡県自動車標板協会
（一財）福岡県自動車標板協会 北九州支部
（一財）福岡県自動車標板協会 久留米支部
（一財）福岡県自動車標板協会 筑豊支部
（一財）福岡県自動車標板協会 箱崎支部
（一財）福岡県自動車標板協会 福岡支部
福岡県中古自動車販売協会
（公社）福岡県トラック協会 粕屋分会
（公社）福岡県トラック協会 千早分室
（公社）福岡県トラック協会 福岡支部
（公社）福岡県トラック協会 福岡支部東福岡分会
福岡個人タクシー協同組合
福島スバル自動車（株）
富士スピードウェイ（株）
フルカワショウジ
（株）フロム・エージャパン
（一財）ベイリーフ
（宗）法心寺
防府警察署
北陸電力送配電（株）
ホンダ販売労働組合
ホンダファイナンス労働組合
マグマックス（株）
まつさか整骨院
（株）丸運 東雲物流センター
（株）丸運トランスポート西日本
三重県交通共済協同組合
（一社）三重県タクシー協会
未来桜トラストライン
水野運輸（株）
三井住友海上火災保険（株）
ミツバチャリティーコンサート
三菱自動車工業（株）
三菱自動車STEP募金
三菱ＵＦＪニコス（株）
ミツワ交通（株）
身延太鼓 みのぶ若竹キッズ
（株）宮城県交通会館
（一社）宮城県自動車協会
（一社）宮城県タクシー協会
（一社）宮城県タクシー協会 仙台地区総支部
宮城県中古自動車販売商工組合
（公社）宮城県トラック協会 塩釜支部 青年部会
宮城スバル自動車（株）
（一社）宮崎県自動車整備振興会
（一社）宮崎県タクシー協会
宮崎県中古自動車販売商工組合
（一社）宮崎県トラック協会
宮崎日日新聞社
妙高はねうまクラシックカークラブ
（株）メモリアルアートの大野屋
ＭＯＴＵＬ　ＪＡＰＡＮ（株）
（一社）山形県自動車整備振興会

山形スバル（株） （一社）山口県トラック協会 （株）山定物流 （株）ヤマタネ北大阪営業所 （株）ヤマダホールディングス 山梨通運（株）	（株）ヤマネット （株）ゆだ ユニプレス（株） （株）ロジコ （一財）和歌山県自動車標板協会

寄付金　　個人　　計　　１５２件		
アイザワ　コウイチ	加藤　健二	タオカ　トシヤ
アカマツ	唐川　美樹	高遠　秀
秋山　哲人	カワイ　イナホ	高野　俊介
アメミヤ　シンゴ	川上　紀文	髙村　公大
荒井　清以	川野　富貴子	瀧端　直樹
イケジリ　マサト	川村　弘子	田中　亨
池本　知嘉子	カンダ　タツシ	田中　智子
石井　直子	菊池　信宏	種野　郁人
石河　裕子	キシモト　カズヒロ	タマヤマ　チエ
イシヤマ　コウジ	北川　静香	ツチヤ　ヒロクニ
イチカワ　ユキエ	久保　郁弥	鶴畑　雅弘
犬飼　斉	栗森　健二	テジマ　ケンタ
五百蔵　舜二	コウチ　タカヒロ	テラダ　ミキ
今柴　紀彦	コバヤシ　ショウ	東條　一聖
今村　恭子	近藤　章夫（中川　典昭）	戸川　百合子
岩永　隼弥	サトウ　ミキコ	弁護士　徳田　貴仁
上田　邦彦	佐藤　賢博	富家　茂人
鵜川　将之介	佐野　零侍	ナガミネ　タカヒコ
ウダカ　マサミ	澤　尚道	中村　一郎
大石　章博	シゲトミシマノ	中村　剛
大木　保典	シゲト　ミシマヒラタ	中村　登
オオタ　カナコ	四之宮　早苗	ニシズミ　シンゴ
太田　聡	清水　淳平	ニシタニ　ヒロシ
太田　尚志	白石　敏雄	丹羽　久男
オオタ　フジコ	白井　孝子	ノガミ
太田　有子	榛葉　里乃	橋本　健一
大津　泰則	杉浦　恵理	ハセガワ　タクミ
大西　洋三	鈴木　由香理	林　敬治
大場　正男	砂川　惺南	林原　聡子
小野寺　安子	関　智生	林　文雄
音田　貢	関根　一正	原岡　誠
梶屋　映子	田内　長宏	平山　相徳　こと　申　相徳

ヒラヤマ	前田　和宏	山下　太郎
深井　さおり	松永　尚忠	山根　淳一
福澤　信之	松村　正雄	山根　智樹
福島　大稀	實貴　孝夫	山本　勝利
フジシマ　シンスケ	ミシマノトミイエ	ヤマモト　ケイイチ
フシタニ　ヤスヒロ	水野　晃	結城　ひとみ
フジタ　マナブ	宮司　章子	横田　俊司
フジナミ　ヨシテル	ミワ　ダイスケ	吉田　和之
藤原　善幸	ムラカミ　タイチ	ワカバヤシ　ヨシヒロ
フルカワ　ムネタカ	村上	ワタナベ　ヒロアキ
古田　栄一	森田　耕八郎	
星　紀彦	中日ドラゴンズ　柳　裕也	匿名　２２件

令和６年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。